



西彼中通信

【校訓】

自主・創造・敬愛

文責 校長 大串 久隆

12月に入り、朝夕の冷え込みが身に染みるようになってまいりましたが、保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。2日には、1年2組の保護者の皆様と安全パトロールの永田さんがあいさつ運動を行ってくださりました。学校教育を地道に支えていただき、本当にありがとうございます。

さて、前号では、多くの行事の紹介を行いました。それ以外でも、多くの活動が行われましたので、今回は、本校の総合的な学習に焦点を絞って、その活動を紹介したいと思います。

働くことの充実感と命の大切さを学習した、西彼農業高校職業体験学習(2年生)

10月10日に、西彼農業高校において、本校2年生の職業体験学習が実施されました。朝の10時に、西彼農業高校の体育館に着くと、校長先生から歓迎のご挨拶をいただくとともに、「西彼農業高校では、『命』を学ぶ学習を行っている」というお話しをしていただき、生徒たちの眼差しに真剣さが宿ったように感じました。その後、高校の普通科や職業科、総合学科などの違いについて、とても分かりやすく説明をしていただきました。そして、西彼農業高校職業科による実習体験が始まりました。生徒たちは、7つのコースに分かれて、それぞれコースに関わる体験学習を行いました。

7つのコース:①栽培(野菜) ②栽培(作物) ③食品製造 ④草花園芸 ⑤動物飼育 ⑥保育福祉⑦フードデザイン
【活動の様子】



各コースの活動には、高校の先生だけでなく、高校生も入って、優しく丁寧にご指導くださり、生徒たちはとても有意義な体験をすることができました。高校での学習が、社会生活に直結していることを体験することで、学校の学習や活動が進学のためだけでなく、自分の将来の生活や社会を支えるために大切なことであることを実感した体験学習になったことと思います。

西海市の未来を考えるシンポジウム(3年生)

3年生は、西海市の政策「西海市の総合計画～まち・ひと・しごと総合戦略～」の視点を参考にして、「ふるさとのために私たちにできることを考えよう。」というテーマで、企画・提案を行う学習を行ってきました。そして、10月28日に、農村改良センターで、プレゼンテーション発表会を行いました。

【発表内容】

- ① まち : 西海市をPRしよう。
- ② まち : COME TO SAIKAI CITY!
- ③ まち : 現代に対応する医療
- ④ ひと : 図書館と託児所を合体
- ⑤ しごと : 自然を生かした観光スポットで交流人口を増やす!

PR動画の作成

買い物ができる店舗を増やして活性化
医療の視点から安心できる街づくり
子育て支援と親の思いに沿った提案
豊富な自然資源と交流人口の増加

9月から10月は、駅伝練習や西彼祭の合唱練習など行事が重なり、とても忙しい月でした。そのような中で、各グループが西海市のためにできることを考えて、分かりやすくまとめて発表しました。当日は5つのグループでしたが、その他にも、11のグループが、紙上発表として、発表内容を掲示して、紹介していました。シンポジウムでは、元 PTA 会長の尾崎幸雄様と西海市政策企画課課長の山下幸一様に発表への助言をいただき、とても学び深い、発表会となりました。



「自主」「創造」「敬愛」を実践し、学年の融和を深めた修学旅行

11月13日～15日に、大阪・京都へ、修学旅行に行っておりました。“Keep smile”のテーマのもと「学校では体験できない歴史、文化、産業などを見聞き、教科の学習や特別活動を充実させる。」「集団行動を通して、協力することの大切さを学び、級友との絆を深める」という目標を掲げた2泊3日の修学旅行は、まさにテーマの通り、最初から最後まで、笑顔の絶えない、とても学びの多い活動となりました。

みんなの気分を高めた、バスレク

各組のレク係が、気分を上げていくため、いろいろなレクリエーションを考えていました。1組では、風船に似顔絵を描いて誰なのかを当てるクイズ「先生の似顔絵対決」、2組では、「ビンゴゲーム」等をレク係が行い、修学旅行の気分を高めながら、バス移動を行いました。

歴史を身近に感じ、知識の大切さを実感した京都自主研修

京都では、生徒たちが班ごとに自分たちで考えたコースでタクシーによる自主研修を行いました。単に歴史的な建造物を見るだけでなく、タクシーの運転手から、その建物が建てられた時の歴史や京都の街のつくり、建物に設(しつら)えた様々な工夫やその願いを知ることで、日頃学習している歴史や地理の学習が今の生活に直結していることや、千年の歴史がそれほど遠いものではないという感覚を持ちました。そして、タクシーの運転手から、「長崎もすごく歴史的なものがありますよね」という言葉を聞き、私たちは、地元である長崎や西海市の歴史や文化をまだまだ知らないし、その価値をうまく生かしていないなあ、と感じた自主研修でした。

楽しさや喜びを味わうための時間と行動のマネジメントを学習したUSJ

集合時間は17時、それまでに班員の楽しみであるアトラクションに乗り、ミールクーポンで昼食を食べ、なおかつお土産も買う。このミッションを、みんなで相談して最善の方法を見つけて実施したのが、USJでした。12時過ぎ、USJは、ものすごい入場者であり、生徒たちのミッションは、さらに難しいものになっていました。

生徒たちに聞くと、「まず、アトラクションに並びました。」という班、「先にお土産の売ってる場所を見ながら目星をつけてから、アトラクションに行きました。」という班、混む前に食事を先に済ませている班もあり、相談しながら臨機応変に対応している様子が伺えました。

そして、17時。全員、時間通りの集合でした。生徒たちは、満面の笑みで、様々なカチューシャや被り物を付けて整列し、ミッションは楽しく達成できたのだと感じました。

「戦争は、絶対やってはいけない！」と強く学んだ、大刀洗平和祈念館

大刀洗平和祈念館は、第一次世界大戦から第二次世界大戦にかけて、飛行訓練を行う場所でした。それが、第二次世界大戦の戦況悪化に伴い、特攻兵の航空訓練地となっていきました。

大刀洗平和祈念館では、当時の生活の様子が映像で分かりやすく紹介されました。戦争で家族を奪われたり、特攻兵が出発するまでの当事者の気持ちや辛さなどを知ることで、今が、どれだけ幸せな日々であるのかということを実感するとともに、戦争は絶対起こしてはいけないと強く思う学習でした。

最後に

3日間とも、天気に恵まれ、とても多くのことを学ぶ修学旅行となりました。リーダーが責任を持って、連絡や指示を行うとともに、それを支える生徒たち一人一人がフォロワーとして、とても気持ちよく行動していました。そして、何よりもうれしかったのは、一人残らず全員が楽しく過ごせるように、気配りや目配り、心配りのある行動が随所で見られたことです。西彼中学校の時期リーダーとなる2年生の頼もしい一面を見ることができた修学旅行でした。3日間、見るもの全てが、輝いて見えたこの修学旅行は、きっと生徒たちの心に、深く刻まれたことと思います。

令和6年度 修学旅行のしおり



下から見た清水の舞台



戦闘機「震電」



伏見稲荷大社「楼門」